

2025 年 9 月 18 日 (木)

## HTB ノンフィクション「生ききる～俳優と妻の夜想曲～」 日本民間放送連盟賞（テレビ教養番組）最優秀賞を受賞

HTB が制作し、今年 2 月 2 日（日）に放送された HTB ノンフィクション「生ききる～俳優と妻の夜想曲～」が、2025 年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビ教養番組で“最優秀”を受賞しました。HTB が“最優秀”を受賞するのは 2019 年の番組部門 テレビドラマ番組で「チャンネルはそのまま！」以来 6 年ぶり、番組部門テレビ教養番組での最優秀は、2003 年に受賞した人間ビジョンスペシャル「霧の日記 アリューションからの伝言」以来、2 度目の受賞となります。

この日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動の発展を図ることを目的に創設された歴史ある賞で、全国の民放各社から応募された番組と実績を対象に年 1 回実施し、優れた番組、優秀と認められた実績を顕彰しています。

HTB ノンフィクション「生ききる～俳優と妻の夜想曲～」は、「俳優斎藤歩の晩年の生き様を追った番組。病との闘い、演出する舞台への思い。大きな舞台の仕事が入り北海道を離れなくてはならなくなった、ともに病と闘ってきた妻の葛藤などを追ったカメラと構成は胸を打つ作品になっている。」と評価され、栄えある“最優秀”に輝きました。

HTB ノンフィクション「生ききる～俳優と妻の夜想曲～」は、治療しなければ余命半年と告げられた 60 歳の俳優・脚本家が、がんに苦しみながらも新しい芝居を作り上げるまでの壮絶な舞台裏に密着したドキュメンタリーです。人はがんを患ったとき、そして大切な人ががんにおかされたとき、どう向き合えば良いのか、夫婦の葛藤を描きました。

今回の受賞について、番組を担当した沼田博光ディレクターは「このような栄えある賞をいただき嬉しく思います。スタッフを代表して御礼申し上げます。今回の賞は、カメラの前に全てをさらけ出し、俳優として生ききる様子を記録してくれた斎藤歩さんと、歩さんを支え、夫婦で前を向こうともがいた妻の西田薫さんのお二人が受賞したのだと感じています。もう直接伝えられないのが残念でしかたがありませんが、授賞式の日がちょうど歩さんのお別れ会の日と重なります。歩さんにはその時に受賞の報告をしたいと思っています。」と話しています。

表彰式は 11 月 7 日(金)に開かれ、ラジオ・テレビ別に番組部門全種目の最優秀賞とこれに次ぐ優秀賞 1 番組の中から、グランプリと準グランプリ番組が発表されます。

※プレスリリースに関するお問い合わせ  
HTB 編成部 渡辺  
TEL : 011-205-7666  
メール : riwatanabe@htb.co.jp

(発行元) 社長室



HTB 北海道テレビは 2021 年 4 月、国連の SDG メディア・コンパクトに加盟しました